

町政を問う!

一般質問 12議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

松浪健一郎 議員

1. 新給食センター建設について
2. 町の財政について
3. 町の活性化について

根岸富一郎 議員

1. (仮称) 交通安全に関する条例の制定について
2. 町の公共施設等の老朽化対策について
3. 大字・自治会の活動支援について

小川唯一 議員

1. 第3次食育推進基本計画について
2. もうかる農業について
3. 職員提案制度について
4. 鳩山町表彰規則について

大賀広史 議員

1. 教育行政について
2. 児童福祉について
3. 宇宙の魅力を発信するまちづくりについて

森 利夫 議員

1. 小・中学校の教育と運営について
2. 給食センターについて
3. 福祉・健康複合施設について

石井 徹 議員

1. 防災行政無線について
2. 小惑星“Hatoyamamachi (鳩山町)” 誕生記念シンポジウムを終えて
3. 2期8年間の総括と次期町長選挙の立候補の意思について

野田小百合 議員

1. 子どもの貧困対策について
2. 自殺対策について
3. 婚活について

田中種夫 議員

1. 高齢者の安全対策について
2. 観光関連の担当窓口の設置・活用について

中山明美 議員

1. 障がい児の家族に対するレスパイトケアについて
2. 睡眠教育について
3. 災害対策について

小鷹房義 議員

1. 昨年12月に掲載された朝日新聞の人口減少に関する調査記事について
2. 農村公園の活性化策について
3. 小・中学校のインフルエンザ対策について
4. 亀井小学校の積雪時の登下校について

石井計次 議員

1. 公園整備について
2. 空き家対策について
3. 18歳からの選挙権について
4. 健康長寿のまちづくりについて

小峰文夫 議員

1. 農地改良について
2. 森林整備について
3. 農村公園について
4. 北部開発・町営バス路線・県道整備について
5. 鳩山ニュータウンの造成にについて
6. 健康長寿の町づくりについて



松浪 健一郎 議員



財政問題

基金が減り続けている要因は

様々な事業の財源として基金を充当

問 減り続けている財政調整基金、地域福祉基金だが、主な要因は。

答 町税、地方交付税等の歳入の減少、様々な事業の財源として基金を充当したため。

問 地方債現在高が増加しているようだが。

答 26年度決算額で、未償還元金52億3785万円。交付税に算入されない純粋な残額は13億4516万円。

問 建設総額6億7000万円の新給食センター建設について、町の財政状況を勘案して本当に必要かどうか伺う。

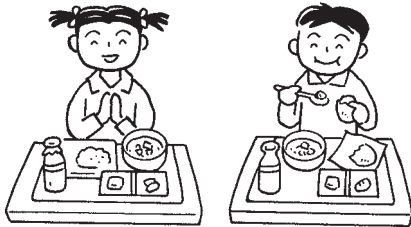
答 多額の財源を必要とするが、安全安心でおいしい給食の提供を目指し、食育の推進拠点として新たに建設したい。ただ、補助金が採択されるかどうかは、不透明な状況が続いている。

問 今現在、米飯は民間委託をしているわけだが、学校給食の新たなあり方調査検討委員会では、おかずについて、民間委託を検討したか。

答 費用面とか地域とかを総合的に勘案して検討したと聞いている。

問 視察した新潟市では、米飯もおかずも全て民間委託。多摩、町田市では組合方式でやっている。子どもが減り続けている鳩山町の現状、財政が厳しい現状を考えると、建設しないで、民間委託の方がコスト面でプラスになると思う。また、新潟市のようなスクールランチ方式も良いと思うが、そういう所まで検討したか。

答 検討していない。



根岸 富一郎 議員

高齢者・自転車事故

交通安全に関する条例の制定を

交通安全協議会にはかって検討する

問 町内の交通事故では、高齢者と自転車の割合が多くなってきた。この現状をどう考えるか。

答 町内での人身事故は、平成26年までは減少していたが、27年になって前年度より18人増加した。また、高齢者や自転車事故の割合が増えた。今後発生状況などを検証していく。

問 条例をつくらないのか。

答 交通安全協議会へはかって、検討する。

問 ニュータウンの道路、個人所有のよう壁などが老朽化しているが、公共施設等総合管理計画で対処できないか。

答 この計画は、公共施設の更新等のコストの平準化が大きな目標であり、この計画には盛り込めない。

問 大字等の役員手当てについてどのように考えるか。

答 役員は、まとめ役として中心的な存在であり、その職務に応じた手当は必要と考える。

問 大字・自治会と社の関係を規約で明確にした方が良いのではないか。

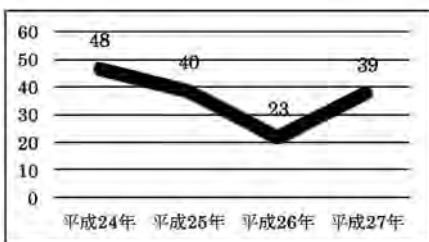
答 明確に区分された方が好ましいと思う。

問 地域の行政に対する協力、協働について、区長だけの判断ですすめていいのか。

答 簡易なものであれば良いと思うが、地域住民への影響が大きいと思われることは、町として協力依頼の仕方を工夫したい。

問 会計処理が専門的になっているので、支援ができないか。

答 大字等からアドバイスを求められたら支援する。



町内事故発生件数の推移

職員提案制度

職員提案制度で斬新なアイデアを

提案しやすい環境を整備する



小川 唯一 議員

問 職員提案制度の目的は何か。

答 職員の資質を向上させ、活力ある職場を作り町民と協働して町づくりにすすめる。

問 提案の範囲は。

答 行政事務の改善、行政施策の企画・立案、収入の増加、経費の節減、その他町政に係るもの。

問 我々はその提案を見るか出来るか。

答 採択となった提案について、公表する機会を検討したい。

問 いつ頃から始め、結果はどうであったか。

答 平成4年度に導入現在まで10件程度の提案があった。

問 どのような提案がなされたか。

答 電算化や文書の電子化等行政事務の改善に関するものが多かった。

問 提案数が少ないのは、職員の改善に対する意欲が低いということにならないか。

答 日々の中での改善は行われている。提案しやすい環境づくりに心がける。

問 今後の進め方は。

答 数年、職員からの提案は途絶えているのでその対策に取り組み、一人でも多くの職員が提案出来る制度、体制の整備を図る。

問 提案から表彰までの流れは。

答 受付けは随時。副町長、担当課長で提案の採否を考える。独創性があり、相当な努力が認められるものには、報奨を行うことが出来る。

問 職員の表彰制度は活かされているか。

答 この規則の目的は勤労意欲の増進、資質の向上を図り、業務の円滑な推進に寄与する事。今後は表彰に値する職員提案が出るよう呼びかける。

問 鳩山町表彰審査会とは。

答 年1回開催。副町長、教育長、総務課長、政策財政課長をもって組織されている。

問 行政サイドの審査となり、偏らないか。

答 審査会は提出された内申書に基づき行われる。

鳩山町の星が誕生

鳩山町が発信する宇宙の魅力とは

宇宙のまち鳩山を積極的にPRする



大賀 広史 議員

問 小惑星ハトヤママが誕生したが、今後宇宙の魅力をどのように発信して、町として取り組む考えか。

答 過日開催した誕生記念シンポジウムは盛況で、好評だった。町には宇宙に関係する施設がある。産学官の連携強化を図り、宇宙学校や衛星打ち上げプロジェクトなど、積極的な取り組みを進めたい。

問 宇宙の町として、イベント開催等、もっとアピールしてはどうか。

答 小惑星ハトヤママが悲しむことのないように取り組んでいく。

問 障がい児などを持つ家族に対するレスパイトの取り組みを伺う。

答 レスパイトとは癒しとか休息という意味で、一時的にケアを代替し、リフレッシュしてもらおう家族支援サービスを行う。

問 教育活動の一環としての中学校の部活動のあり方と現状を伺う。

答 教育課程外の活動ではあるが、教師の熱意

によって支えられている。加入率は85%、運動部が9、文化部は2部だ。

問 顧問の負担軽減や地域の活性化のためにも定年退職した高齢者などの部活応援ボランティアを募ってみてはどうか。

答 保護者や生徒の理解を得ながら、外部コーチ制度という方向で中学校とも十分に相談して考えていきたい。

問 計画しているひとり親家庭の実態調査とは。

答 第2次鳩山町ひとり親家庭等支援計画策定のため、面接や訪問による実態調査を行う予定だ。

元宇宙飛行士の山崎直子氏
「記念シンポジウムにて」

義務教育と運営

地域の実情に応じた義務教育とは

緊急に統廃合を進める状況ではない



森 利夫 議員

問 児童・生徒数の減少が続く現状で、小・中連携あるいは一貫教育について、どのように考えているのか。

答 体育祭や音楽会など、児童・生徒の活発な交流が行われている。また、教職員の間でも合同研修会を行い、共通認識を持つよう取り組み、いじめや不登校が急増する中学1年時の教育上の様々な課題の緩和や、学力向上に向け検討をしている。来年度からは中学校の数学の教諭が小学校も兼務して、さらなる学力の向上を図る予定。

問 小・中一貫教育は実施していないが、連携教育としては充実している。

答 一定の学校規模を確保することが重要であるが、地域「コミュニティ」の核としての性格も密接不可分。緊急に統廃合を進める状況ではない。

問 1学年の児童数が、10数人の亀井小学校に編入学ができるよう、通学

区の変更等により、児童数を増やす考えはあるか

答 児童数を増やす目的で、学区の変更は難しい。新設道路等により生活圏が分断された地域については検討したい。

問 福祉・健康複合施設建設のため、解体された体育館等の、どの部分にアスベストを含む建材があったのか。

答 体育館外側の軒の部分や、トイレ等の天井に使用されていた。

問 アスベストを含む建材の最終処分方法は、高崎市の有限会社二光産業処理で埋め立て処分した。



(旧) 松栄小グラウンド(町有地)に建設がすすむ特養施設

7月は町長選挙

町長2期8年の総括と出馬意思は

自ら掲げた施策、自らの手で成就へ



石井 徹 議員

問 2期8年の総括と出馬の意思は。

答 2期8年はほぼ達成できたと思う。町民の皆様のご理解をいただければ、財政上やごみ焼却場の新施設建設他の課題に向け鋭意努力していきたい。

問 防災行政無線について、全国でも先駆けてのデジタル化のメリットは。

答 天変地異の災害情報や、先日の北朝鮮のミサイル発射も国のJアラートを通し、瞬時に情報が得られた。また災害時の発信をはじめ様々な改善が計られている。

問 防災行政無線が聞こえない、また聞き逃した際はどうしたら良いか。

答 鳩山町メール配信サービス※1、フオロー電話サービス※2の利用で情報を得ることができる。

小惑星ハトヤママチシンポジウムを終えて

問 参加者やメディアからどんな反響があったか。

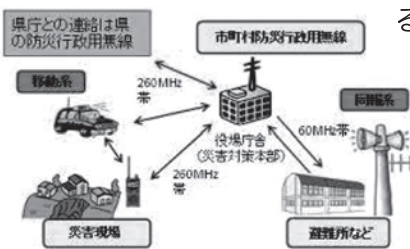
答 参加者からは高評価が多数、今後の町おこしへの期待の声もあった。メディアではNHK他TV関係2社、新聞4社の取材で想定外の反響だった。

問 町のふるさと納税の返礼品についてNHKの放送後の反応は。

答 2月2日の放送後から1週間で29件、168万円の寄付の申し込みをいただいた。

問 今後ふるさと納税をどのように考えているか。

答 宇宙関連グッズの返礼品が好評だが、町の特産品活用も考えていく。将来的には、東京電機大学との協働で、超小型衛星の打ち上げも考えている。



野田 小百合 議員



子どもの貧困

子ども食堂など町民と考えよう

協力者がいるのであれば支援できる

問 子どもの貧困対策に、どう取り組むのか。

答 平成28年度中に、『鳩山町ひとり親家庭等支援計画』の第2次計画を策定したい。ひとり親家庭等の生活実態調査を実施し、貧困対策の必要性など状況を把握したい。

問 ※1 子ども食堂、学習支援など住民と町と一緒に考えられないか。

答 協力したい方がいるのであれば、町としても支援できればと思う。

鳩山町の生活保護者など生活困窮者は、比較的少ない。支援を必要としている人が、どの程度いるのか分からない。町の実情や他市町村の事例なども研究し、検討したい。

問 自殺対策の今後の取り組みはどのようか。

答 悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して孤立や孤独を防ぎ、支援することが重要。1人でも多くの方に、※2 ゲートキーパーとしての意識を持っていただき、それぞれの立場で、できることから行動を起こしてい

くことが自殺対策につながる。講座や講演会等も継続的に行っていきたい。平成28年度秋頃を目途に、心に悩みを抱えた方とその家族を対象に、気軽に参加できるサロンを、定期的に実施する方向で考えている。

問 婚活支援として、積極的に出会いの場づくりを考えてみないか。

答 比企地域の市町村が連携して取り組む予定だ。

※1 子ども食堂とは、経済的な苦しさを抱える家庭の子どもたちなどに、格安で食事を提供します。

※2 ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、話を聞いて、必要な支援につなげる見守る人のこと。



「せたがや子ども食堂・みつと」のある日の食事

田中 種夫 議員



後期高齢者

免許証の自主返納推奨を！

デマンドタクシー利用の拡大に

問 鳩山町内での交通事故関連について伺う。平成24年・25年・26年の3ヶ年にわたり町内の交通事故は減少傾向にあったが、27年になり特に高齢者に関する事故が多くなっており、急激に増加している。更に町内への企業進出などにより交通量も増加傾向にある。

そのような中で当町は、本年2月末現在「交通事故死亡者ゼロ」の日数も2580日を越えて埼玉県内トップを維持している。

継続するためにも高齢者の方には、免許証の自主返納を考えて頂き、被害者にも加害者にもならないように、今後はデマンドタクシーの利用の拡大を町が推奨してはいか

答 現状としては具体的には未定だが、今後デマンドタクシーなどの面から検討していきたいと考えている。

問 「運転経歴証明書」の発行については手数料

が千円程度かかるが交通安全の関連で町から補助はできないか。

答 手数料補助は考えていない。

問 観光関連の担当者として「再任用職員」を専門担当として採用してはいかがか。

答 再任用職員は、正職員と同等業務についており、観光担当にすることは人員的にも難しい状況。

問 観光関連として「はーとん」の活躍動向は。また、はーとんグッズの販売動向はいかがか。

答 昨年度の活動は各地の41イベントに参加して好評だった。なお新商品として丸い「手鏡」を販売開始した。

今後は開発・販売について商工会とも連絡を取り合っていきたい。



好評なデマンドタクシー

中山 明美 議員



障がい児福祉

レスパイトケアの町の考え方は

精神的・身体的負担の軽減を図りたい

問 超重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア。町の考え方はいかがか。

答 リフレッシュができること、病気や事故、災害、冠婚葬祭などの緊急・社会的な事由で、必要な場合に利用できるような環境整備が必要であると考えている。心身障がい児等を介助する家族の精神的・身体的負担の軽減を図りたい。

問 町事業の対象となる基準について伺う。

答 ショートステイと日中一時支援、デイサービスを行うもので、町内の在宅超重症心身障がい児を受け入れた事業所に補助金を交付する。

問 事業所はどこか。

答 毛呂山町にある社会福祉法人毛呂病院内の光の家療育センターが両方対応している。

問 家族の方が連れて行くのは、大変なご苦労があるのではないか。

答 障害児(者)生活サポート事業をご利用いただければと考えている。



レスパイトケアをおこなっている「光の家療育センター」

サービス提供エリア内であれば、町外でも移送サービスが受けられる。

問 今後、超重症心身障がい児に対する訪問支援サービスはできないか。

答 障害者総合支援法によりまず居宅介護サービスや障害児(者)生活サポート事業などのサービスの介助、排せつの介助、入浴の介助などのサービスを受けることができる。

問 医療行為はできないということか。

答 居宅介護サービスの中で、ヘルパーが医療行為のできる資格があれば可能である。しかし、できる事業所が余りないので、町として事業所と仲介・調整させていただきたい。

人口減少

5市2町での住民転居志向率は

鳩山町では13.1パーセント

小鷹 房義 議員



問 昨年12月、朝日新聞社が人口減少に関する住民意識調査を実施したが、どのようなことか。

答 埼玉県と埼玉大学調査研究センターが報道発表し、人口減少に対応した地域づくりに基づき編集されたものと考えられる。人口減少調査は、地域特性を把握した上で、埼玉県が政策形成に必要なデータを得るために実施した。

問 調査対象市町は、川越市、幸手市、秩父市、本庄市、戸田市、小川町、鳩山町、五市二町であるが鉄道の駅も無く、国道も無く、人口減少が著しい本町が、なぜ選定されたか。

答 小川町や鳩山町では、特に出生率が低く、人口減少率・高齢化率が高いが、今回の調査は無作為抽出で、人口や位置などを考慮して選定された。

問 他の市町でも、同様の調査は行われると思われるか。

答 人口減少社会に資

するデータを得るため実施したもので、必要性は乏しい。むしろ、5年後、10年後に今回と同じ市町を対象として調査が行われ、時系列比較を行う方が意味があるのではないかとと思われる。

問 農村公園名は残して別の愛称(ネーミング)を付けられないか。

答 イメージの湧くような、耳にした方の印象に残るような名称が必要と考えるが、今のところ検討はしていない。施設関係のリニューアルができたなら、その時点で考え方も良いと思う。



剪定された農村公園のケヤキ

石井 計次 議員



公園整備

ジャブジャブ池は発展的解消を

より良い形を考えていく

問 農村公園内のジャブジャブ池の年間の維持費を伺う。

答 毎年、池の清掃を3回実施している。

67万円程度のコストがかかっている。ジャブジャブ池は19年を経過し劣化が激しくなっている。

問 全体に傷みがある池に、夏場、子供たちが裸足で入る。安全な状態にするには相応な費用がかかる。利活用されていない期間のほうが多く、芝生に植え替えて公園スペースを確保するのが良いのではないか。この状況から初期の目的は達成したのではないか。発展的解消を選択肢と考えるのがいかがか。

答 初期の目的は達成したとの意見もある。課としてどのような形がよいか検討させていただく。**親水公園について**

問 国土交通省では近年、河川空間のオープン化、地域活性化のため河川敷地の規制緩和に取り組んでいる。この親水公園の計画段

階のコンセプトは水辺に親しむ公園の実現である。水辺に親しむ進入路を確保できないか伺う。

答 町は河川法の占用許可を受けて、国の社会資本整備総合交付金を活用し、整備した。当時のコンセプトは、家族が触れ合う公園・川辺の親水空間も想定していた。

しかし公園の水面からの高さ、占用許可の問題等取りやめた経緯がある。

問 南端から直線で20〜30メートル、本格的な整備でなくとも、水辺に親しめる小規模な整備はいかがか。

答 簡易的な道路であれば安価で可能と思う。工事費、占用について考えてみる。



劣化が著しいジャブジャブ池

農村公園

農村公園のジャブジャブ池の今後は

総合的に計画を立てて検討

小峰 文夫 議員



問 ジャブジャブ池の周りの石が、剥がれて危険な状態にあるが、どのように考えているか。

答 ジャブジャブ池の周りの石の剥がれを、コンクリートで補修をしたことがあるが、経年劣化のため、周辺石の剥がれなどが目立ってきた。どう維持していくか、総合的に検討していく。

北部開発・町営バス路線・県道整備について

問 北部開発と同時に行われる、町営バス路線の考えは。

答 北部地域における公共交通の空白地帯の解消を図り、公共交通の利便性を確保するもの。

暮らしやすく、住み続けられる環境整備、北部地域への来訪者の増加を目指した町外からのアクセス性の向上、町への定住者の誘導可能性を高める目的として、北部地域活性化取組方針によるモデル事業である。

泉井、竹本、須江、大橋、奥田を經由して、高坂駅を結ぶ町営路線バス

の計画である。**北部開発に伴う県道整備について**

問 入西赤沼線の大橋までの延長と、県道の奥田から石坂一（大平）までの延長は、どちらが安くなるか。

答 経済比較は大変難しい。入西赤沼線の大橋までの延長は、用地買収、移転補償、道路工事、橋梁工事などで18億円。

石坂から奥田への路線は、建物移転がなく橋梁も不要。山間部のため擁壁工事が必要で、約11億円程度。

石坂から奥田の路線が約7億円、約40パーセント安くできるのでないかと想定する。



石が剥がれて危険なジャブジャブ池